

## 第 7 章

### 今後の課題

## 第7章 今後の課題

### 1. 事業化に向けて

秋田市ポートタワーの改修、道の駅化など、本プランを実現化していくためには、既往の制度等との兼ね合いによる解消すべき課題があります。

このため、事業の実現のために、国、県などとの連携により、協働で取り組んでいくことが必要となります。

### 2. 支援体制の構築に向けて

事業実現のためには、港湾管理者、道路管理者などとの連携はもとより、地域住民の方々、指定管理者など、にぎわいを創出するための継続的な協働体制を構築することが重要となります。

とくに、ソフト、ハートづくりの取り組みにおいては、秋田市ポートタワー周辺、ひいては土崎地区等のにぎわいを創造したいと考える個人や団体等の集結による新たな組織体等の形成を図ること、そのためのきっかけづくりを行うことが重要となります。

事業具体化の第一歩となる平成20年度には、地域住民の方々、各種団体、秋田港周辺地域のにぎわい創出を目指す方々への呼びかけなどにより、新たな組織づくりを進めるとともに、その組織において、できることから新たな取り組みを実践します。

### 3. 事業の検証

コンテナ便の拡充、(仮称)北部地域市民サービスセンターの建設など秋田市ポートタワーをとりまく情勢の変化に対応し、常ににぎわい創出の観点から、情勢の把握を行いながら、事業を検証し、必要に応じて計画を見直します。

## みなとオアシスあきたにぎわいプラン策定委員会

委員長	折田 仁典	独立行政法人国立高等専門学校機構秋田工業高等専門学校教授
副委員長	小澤 敬二	国土交通省東北地方整備局秋田港湾事務所所長
委員	青木 義典	社団法人ウォーターフロント開発協会専務理事
	石井 有良	秋田市市勢活性化推進本部長
	江口 文男	秋田県建設交通部秋田港湾事務所長
	大島 紳司	株式会社秋田まるごと市場代表取締役
	小国 裕実	秋田市商工部長
	小熊 欽一	株式会社秋田中央観光社常務取締役
	小向 秀治	新日本海フェリー株式会社秋田支店長
	嶋田 康子	秋田県貿易株式会社代表取締役社長
	林 明夫	秋田みなと振興会会長
	藤田 伸郎	港商友会会長
	柳田 春和	秋田商工会議所土崎支所長
	山内 啓一	秋田県建設交通部港湾空港課長

(順不同 敬称略)

### 事務局

秋田市商工部港湾貿易振興課長	門間 徹
同 課長補佐	北川 嘉彦
同 主査	畠山 健
同 主事	大森 幸一

## **みなとオアシスあきたにぎわいプラン**

**秋田市商工部港湾貿易振興課**

〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号

電話／018-866-2164 ファクシミリ／018-863-8997

URL <http://www.city.akita.akita.jp/city/in/hb/default.htm>

E\_mail [ro-inhb@city.akita.akita.jp](mailto:ro-inhb@city.akita.akita.jp)